

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2014-200537(P2014-200537A)

【公開日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2014-059

【出願番号】特願2013-80146(P2013-80146)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示を開始するより前に所定報知を実行する所定報知実行手段と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段と、

前記有利状態となるか否かを、前記決定手段による決定前に判定する判定手段と、

前記判定手段による判定の対象となつた可変表示が実行されるより前に、前記判定手段による判定結果に応じて、前記所定報知を複数種類の態様のうちいずれかの態様に変化させて前記有利状態となる可能性を予告する予告演出を実行する予告演出実行手段と、

前記予告演出が実行されるか否かに関わらず前記予告演出が実行された後の前記所定報知の態様を示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段と、を備え、

前記予告演出実行手段は、前記示唆演出により示唆される前記所定報知の態様が前記有利状態となる可能性が高いことを示す態様である場合に、前記示唆演出により示唆される前記所定報知の態様が前記有利状態となる可能性が低いことを示す態様である場合よりも高い割合で前記予告演出を実行する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、パチンコ遊技機等の遊技機に係り、詳しくは、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明による遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1など）であって、

可変表示を開始するより前に所定報知を実行する所定報知実行手段（例えば、画像表示装置5に保留表示図柄を表示させる演出制御用CPU120など）と、

前記有利状態に制御するか否かを決定する決定手段（例えば、ステップS232、S236、S239などの処理を実行するCPU103など）と、

前記有利状態となるか否かを、前記決定手段による決定前に判定する判定手段（例えば、ステップS211などの処理を実行するCPU103など）と、

前記判定手段による判定の対象となつた可変表示が実行されるより前に、前記判定手段による判定結果に応じて、前記所定報知を複数種類の態様のうちいずれかの態様に変化させて前記有利状態となる可能性を予告する予告演出（例えば、保留表示予告など）を実行する予告演出実行手段（例えば、ステップS508A、ステップS171などの処理を実行する演出制御用CPU120など）と、

前記予告演出が実行されるか否かに関わらず前記予告演出が実行された後の前記所定報知の態様を示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段（例えば、ステップS508B、ステップS171などの処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、

前記予告演出実行手段は、前記示唆演出により示唆される前記所定報知の態様が前記有利状態となる可能性が高いことを示す態様である場合に、前記示唆演出により示唆される前記所定報知の態様が前記有利状態となる可能性が低いことを示す態様である場合よりも高い割合で前記予告演出を実行する（例えば、ステップS993の処理で図27（B）に示す決定割合にしたがって示唆演出の態様を決定し、保留表示予告を実行するなど）、

ことを特徴とする。

（1）また、上記目的を達成するため、本発明によるその他の遊技機は、

各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば、特別図柄や飾り図柄など）の可変表示を行い表示結果を導出する可変表示手段（例えば第1及び第2特別図柄表示装置4A、4Bや画像表示装置5など）を備え、予め定められた特定表示結果（例えば、大当たり図柄となる特別図柄や大当たり組合せの確定飾り図柄など）が導出されたときに、遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当たり遊技状態など）に制御する遊技機（例えば、パチンコ遊技機1など）であって、

識別情報の可変表示を開始するより前に所定報知を実行する所定報知実行手段（例えば、画像表示装置5に保留表示図柄を表示させる演出制御用CPU120など）と、

識別情報の可変表示を開始するときに、前記特定遊技状態に制御するか否かを、識別情報の表示結果が導出される以前に決定する開始時決定手段（例えば、ステップS232、S236、S239などの処理を実行するCPU103など）と、

識別情報の可変表示結果が前記特定表示結果となるか否かを、前記開始時決定手段による決定前に判定する開始前判定手段（例えば、ステップS211などの処理を実行するCPU103など）と、

前記開始前判定手段による判定の対象となつた識別情報の可変表示が実行されるより前に、前記開始前判定手段による決定結果に応じて、前記所定報知を複数種類の態様のうちいずれかの態様に変化させて前記特定遊技状態となる可能性を予告する予告演出（例えば、保留表示予告など）をする予告演出実行手段（例えば、ステップS508A、ステップS171などの処理を実行する演出制御用CPU120など）と、

前記予告演出が実行されるか否かに関わらず前記予告演出が実行された後の前記所定報知の態様を示唆する示唆演出を実行する示唆演出実行手段（例えば、ステップS508B、ステップS171などの処理を実行する演出制御用CPU120など）と、を備え、

前記予告演出実行手段は、前記示唆演出により示唆される前記所定報知の態様が前記特定表示結果に制御される可能性が高いことを示す態様である場合に、前記示唆演出により

示唆される前記所定報知の態様が前記特定表示結果に制御される可能性が低いことを示す態様である場合よりも高い割合で前記予告演出を実行する（例えば、ステップS993の処理で図27（B）に示す決定割合にしたがって示唆演出の態様を決定し、保留表示予告を実行するなど）、

ことを特徴とする。